

KVK

CODE 6484

2014年度決算概要と経営戦略

(2015.6.29)

株式会社 KVK

問い合わせ先: 企画部長 野原智

TEL: 058-293-0007

e-mail: info@kvk.co.jp

URL : <http://www.kvk.co.jp/>



〔注意事項〕

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。

経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

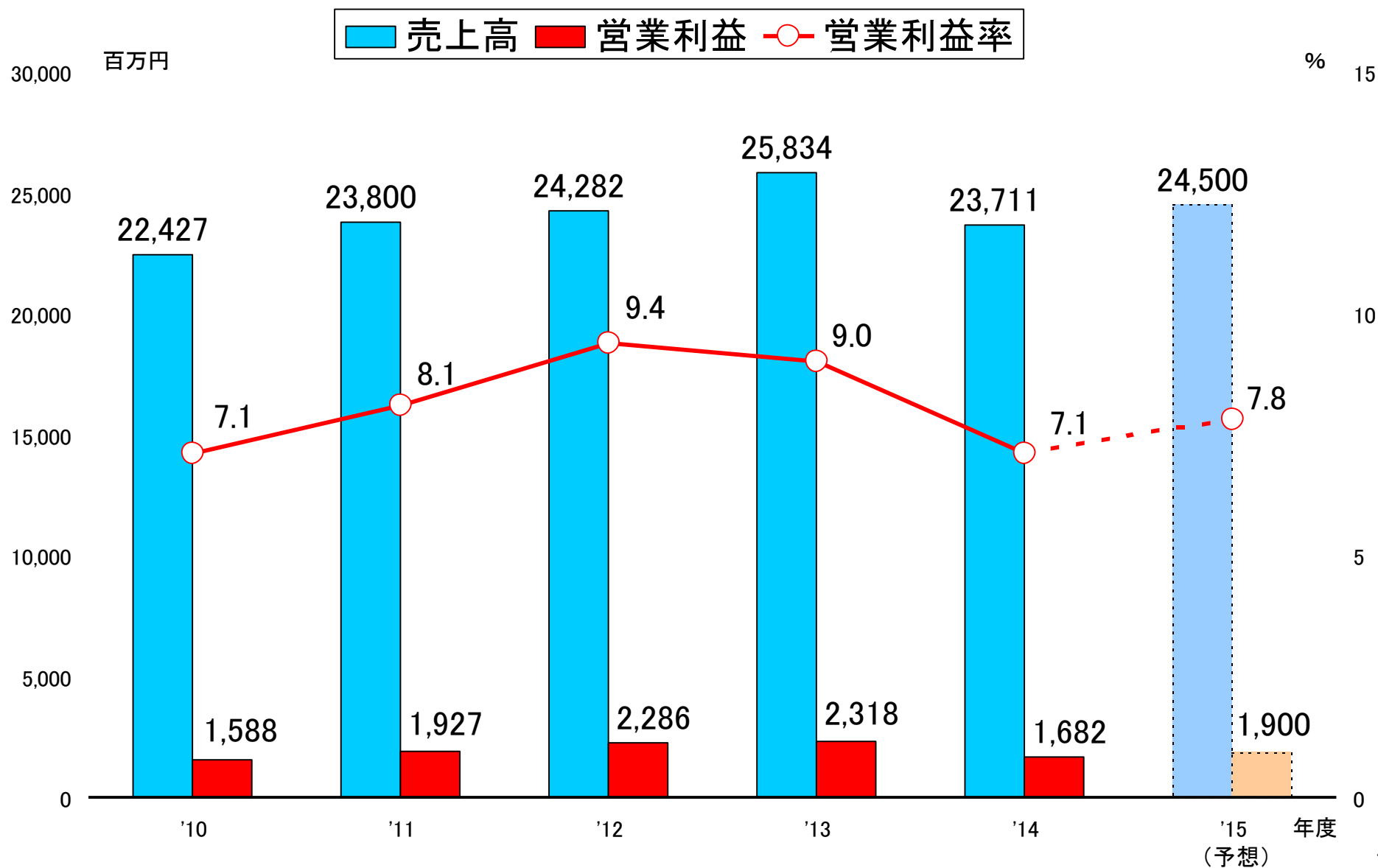
1. 2014年度通期業績
2. 今後の経営戦略

決算ハイライト (通期)

【連結】 (単位:百万円)	2014年度		2013年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	23,711	100.0%	25,834	100.0%	▲2,123	▲8.2%
営業利益	1,682	7.1%	2,318	9.0%	▲635	▲27.4%
経常利益	1,764	7.4%	2,436	9.4%	▲672	▲27.6%
当期純利益	1,040	4.4%	1,624	6.3%	▲584	▲36.0%
EPS	63.60	-	99.08	-	▲35.48	-

【単独】 (単位:百万円)	2014年度		2013年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	23,839	100.0%	26,012	100.0%	▲2,172	▲8.4%
営業利益	1,760	7.4%	2,225	8.6%	▲465	▲20.9%
経常利益	1,912	8.0%	2,457	9.4%	▲544	▲22.2%
当期純利益	1,187	5.0%	1,607	6.2%	▲419	▲26.1%
EPS	72.61	-	97.99	-	▲25.38	-

業績推移 (連結)



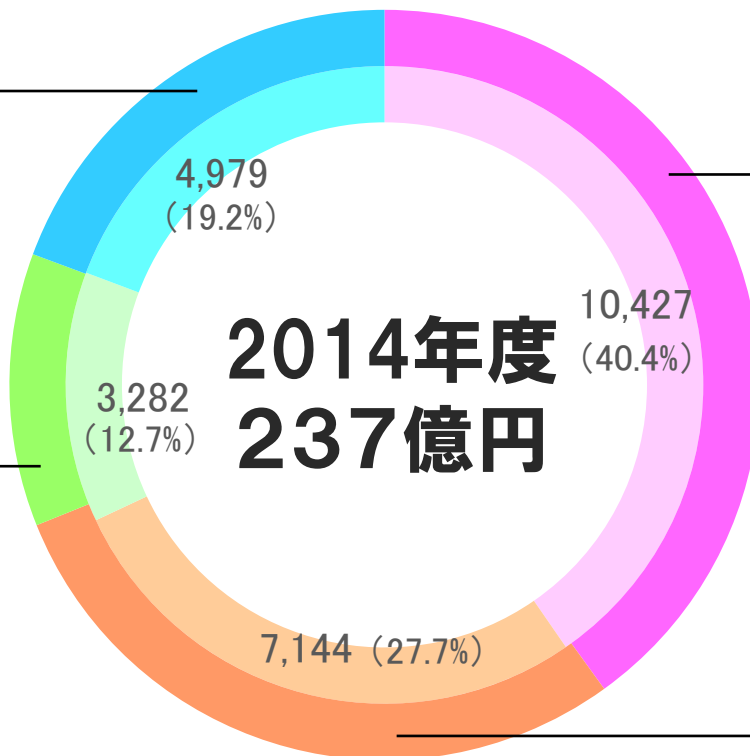
品目別売上高比較 (連結)

品目別売上高構成比



その他
4,584百万円, 19.3%

単独水栓
2,790百万円, 11.8%



※内側は前期の数値

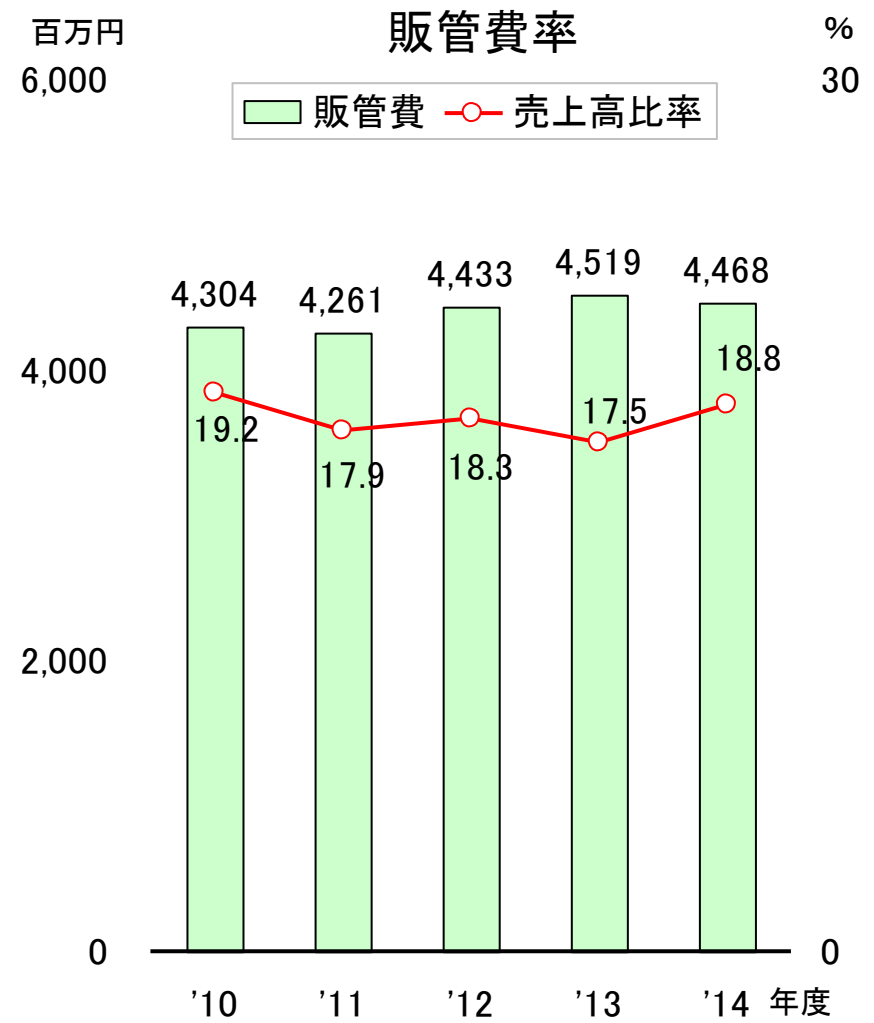
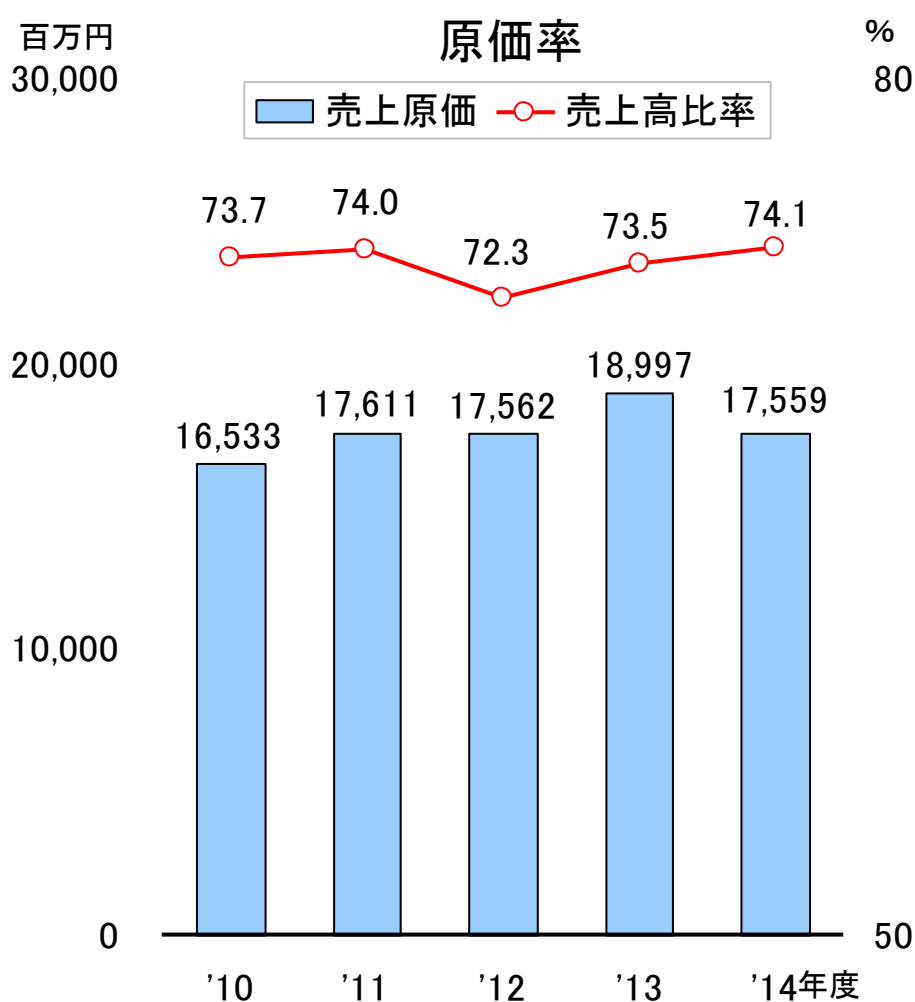


シャワー付湯水混合水栓
9,493百万円, 40.0%



湯水混合水栓
6,843百万円, 28.9%

原価率・販管費率 (連結)



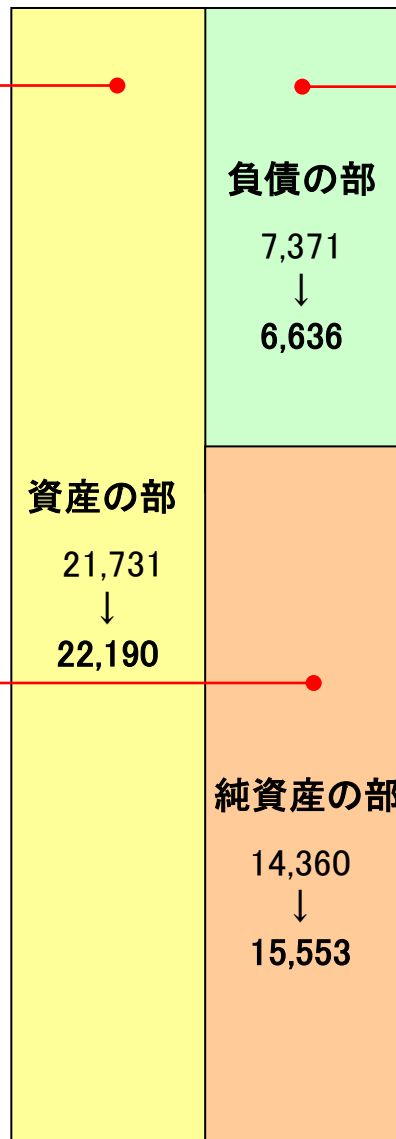
貸借対照表 (連結)

資産の部 +4億58百万円

流動資産は、前期末に比べ7億40百万円増加し、158億43百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少するものの、現金及び預金、電子記録債権の増加などによるものです。
固定資産は、前期末に比べ2億81百万円減少し、63億46百万円となりました。これは主に、**土地**(伊自良)の売却によるものであります。

純資産の部 +11億93百万円

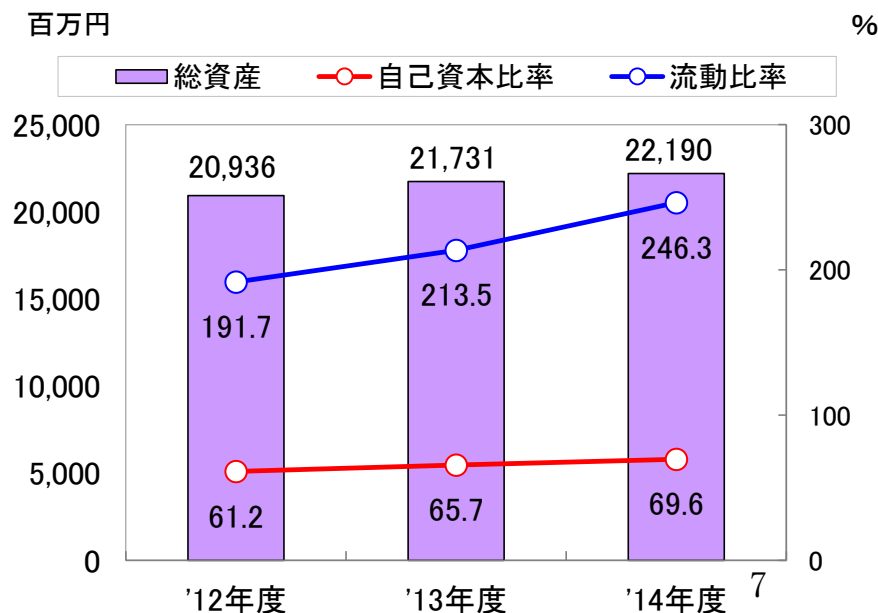
純資産は、前期末に比べ11億93百万円増加し、155億53百万円となりました。これは主に、当期純利益が上乗せになり、利益剰余金が9億12百万円増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末に比べ**3.9ポイント**増加し、69.6%となり、1株当たり純資産額は71円85銭増加し、944円47銭となりました。



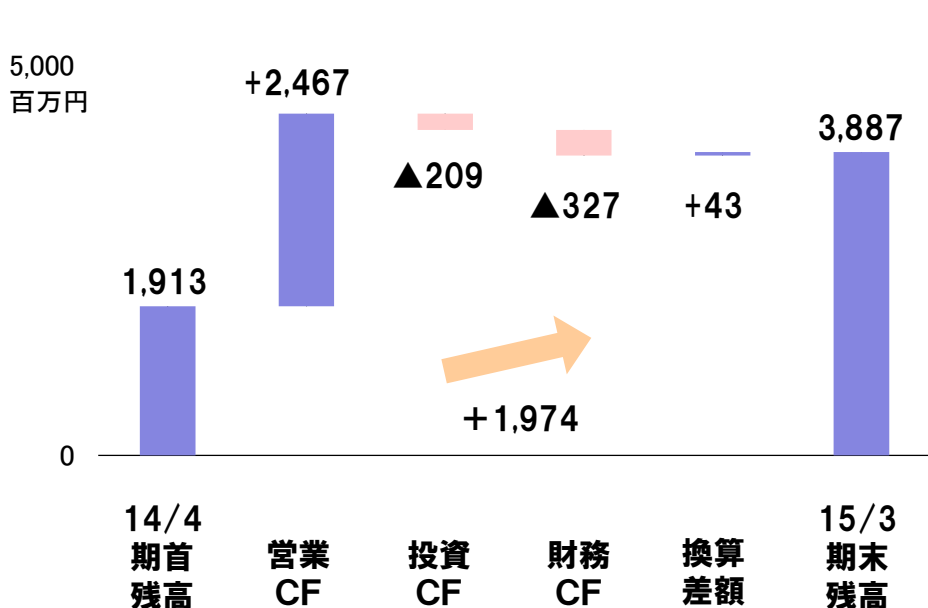
※単位:百万円 前期末との比較

負債の部 ▲7億35百万円

流動負債は、前期末に比べ6億41百万円減少し、64億33百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものです。この結果、流動比率は前期末に比べ**32.8ポイント**増加し、246.3%となりました。
固定負債は、前期末に比べ93百万円減少し、2億2百万円となりました。



キャッシュ・フロー (連結)



科目	'14/3	'15/3	増減額
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,399	1,716	▲ 683
減価償却費	600	708	108
減損損失	0	36	36
法人税等支払	▲ 766	▲ 711	55
運転資本	▲ 503	532	1,035
その他	▲ 269	185	455
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,460	2,467	1,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 957	▲ 209	748
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 993	▲ 327	665
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	43	10
現金及び現金同等物の増減額	▲ 457	1,974	2,431
現金及び現金同等物の期首残高	2,370	1,913	▲ 457
現金及び現金同等物の期末残高	1,913	3,887	1,974

※運転資本=売上債権の増減額+たな卸資産の増減額+仕入債務の増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、10億7百万円増加し、24億67百万円の収入となりました。これは主に、売上債権の減少などによるものであります。

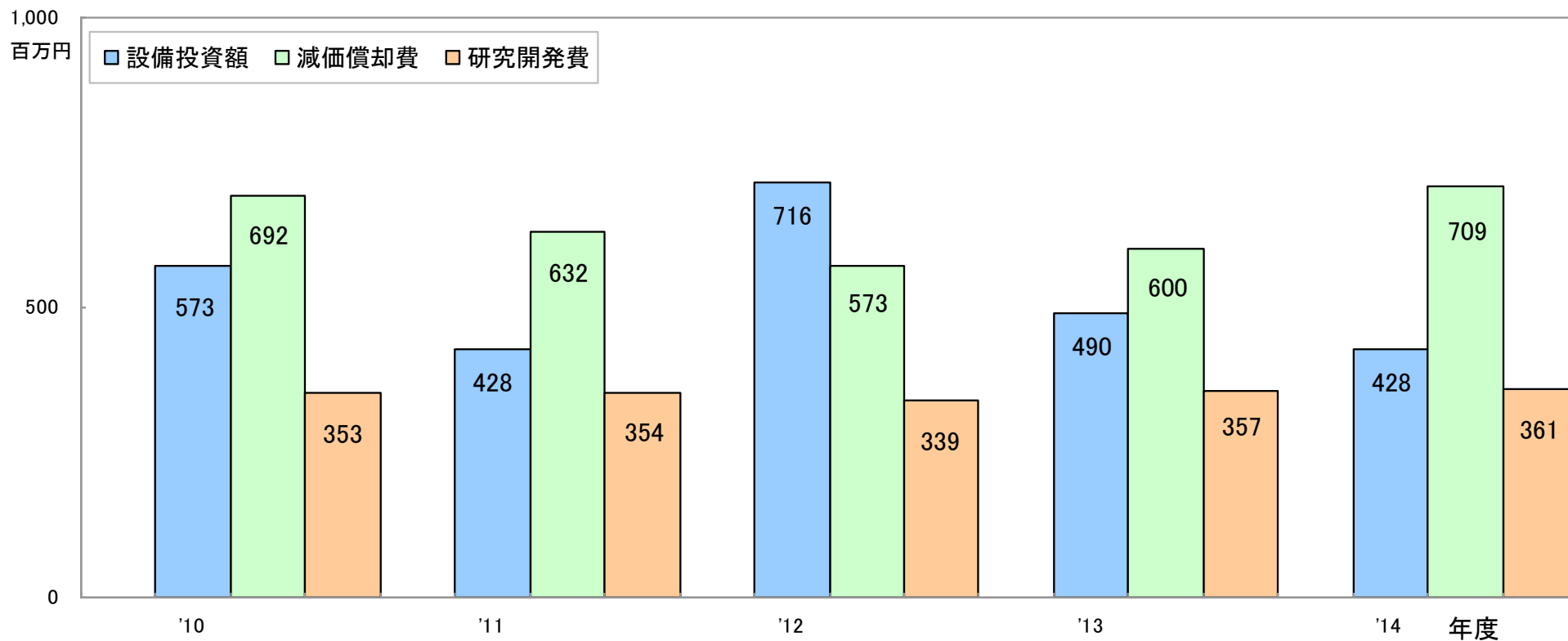
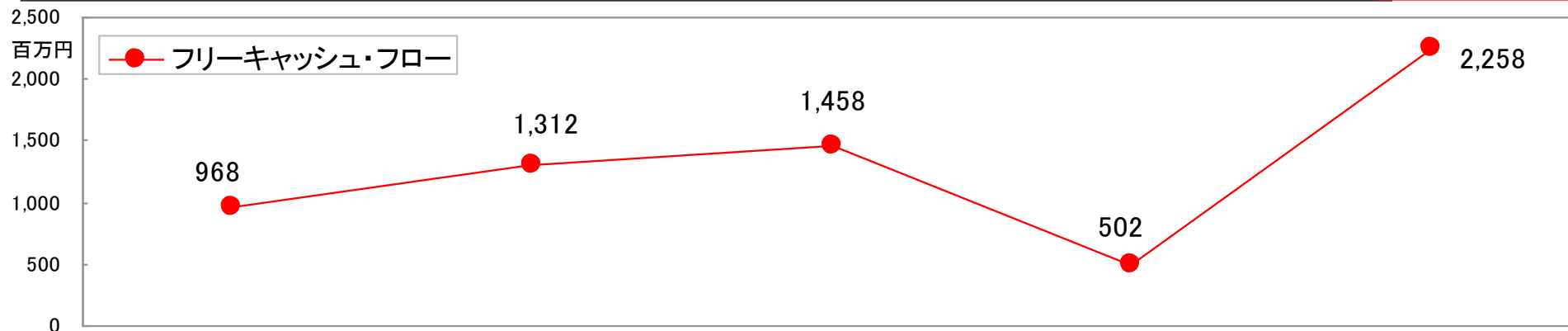
投資活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、7億48百万円減少し、2億9百万円の支出となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出の減少や有形固定資産の売却による収入などによるものであります。

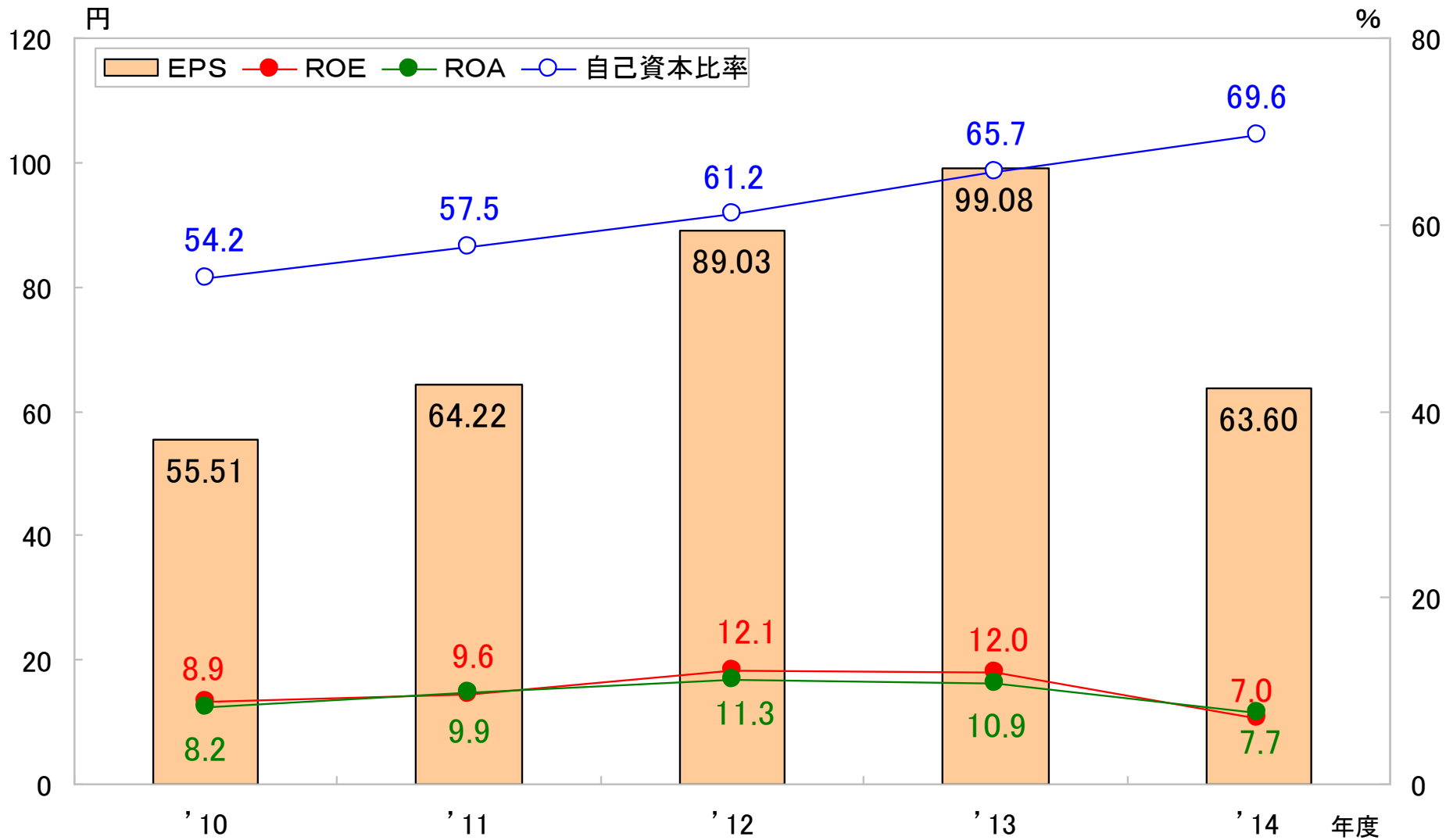
財務活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、6億65百万円減少し、3億27百万円の支出となりました。これは主に、有利子負債ゼロによる借入金返済がなくなったことなどによるものであります。
この結果、当期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ19億74百万円増加し、38億87百万円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費（連結）

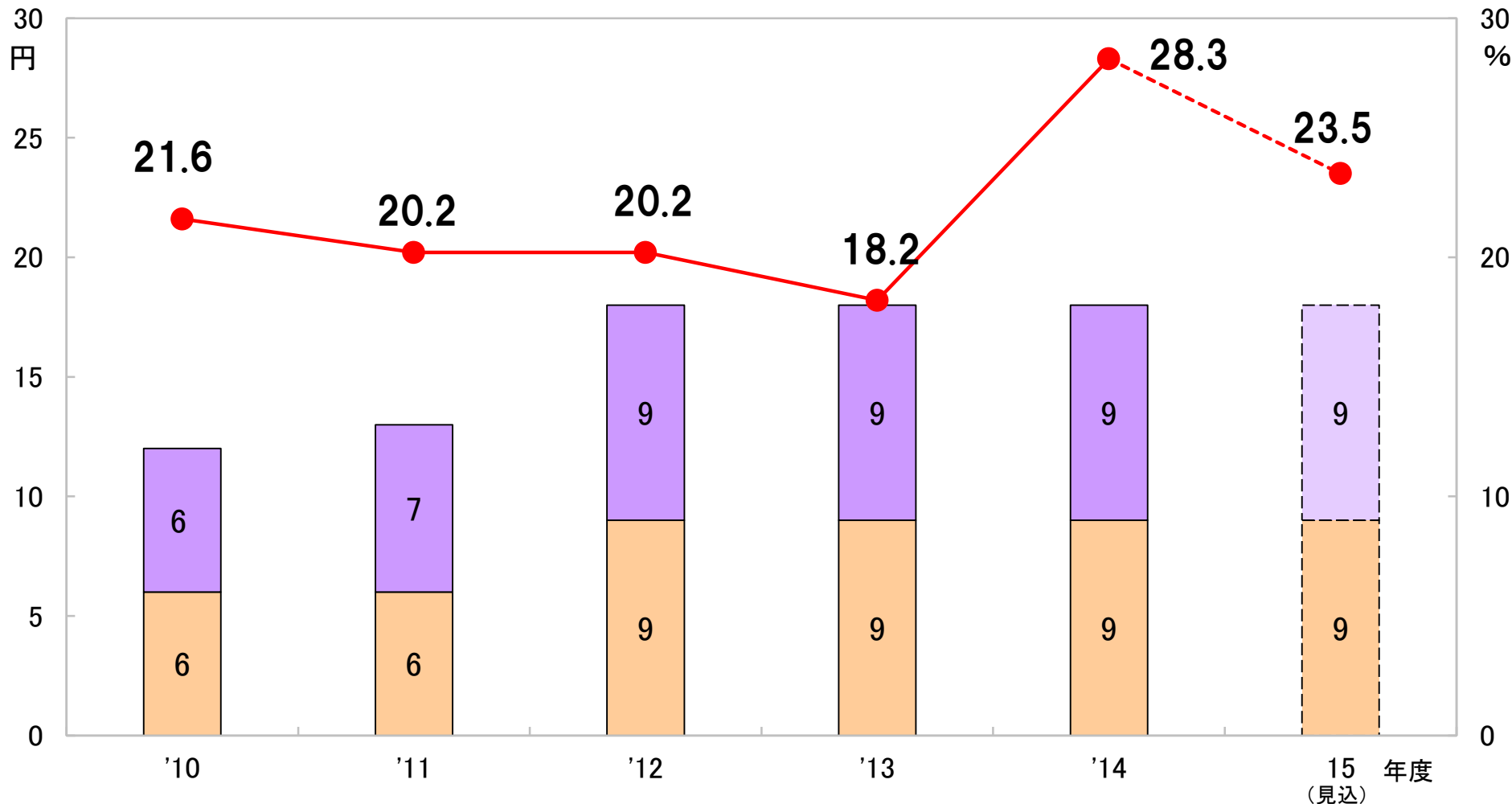


主要經營指標 (連結)



1株当たり配当金

■ 中間配当金 ■ 期末配当金 -●- 連結配当性向



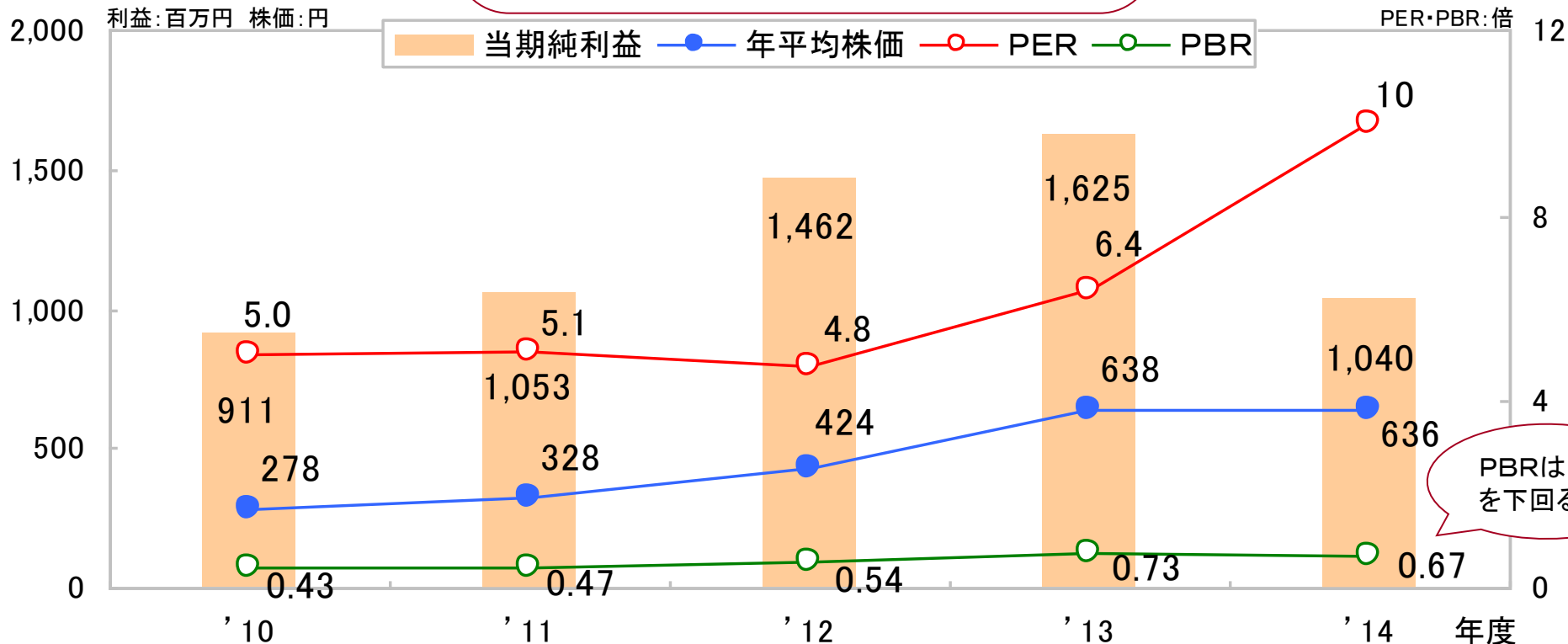
配当利回り(配当/株価)	4.3	4.0	4.2	2.8	2.8	2.8	%
株価	278	328	424	638	636	645	円

※株価: 日々の終値の平均。'15年度配当利回りは'15/3/末終値(@645)で算出。配当性向: 配当/1株当たり純利益

利益と株価の関係(連結)

※年平均株価:日々の終値の平均

利益:百万円 株価:円



PBRは1倍を下回る。

1株当たり当期純利益	55.51	64.22	89.03	99.08	63.60
1株当たり純資産	639.22	693.66	780.90	872.62	944.47

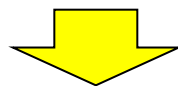
(PBR: 株価純資産倍率(1株当たり純資産に対し株価がどの水準にあるか示す指標: 株価/1株当たり純資産)
 PER: 株価収益率(株価の割安度・割高度を判断する尺度: 株価/1株当たり利益))

時価総額(億円)	58.5	58.8	112.4	103.8	105.4
3/31終値(円)	357	359	685	635	645
自己株(株)	127,743	147,172	109,999	174,816	178,869

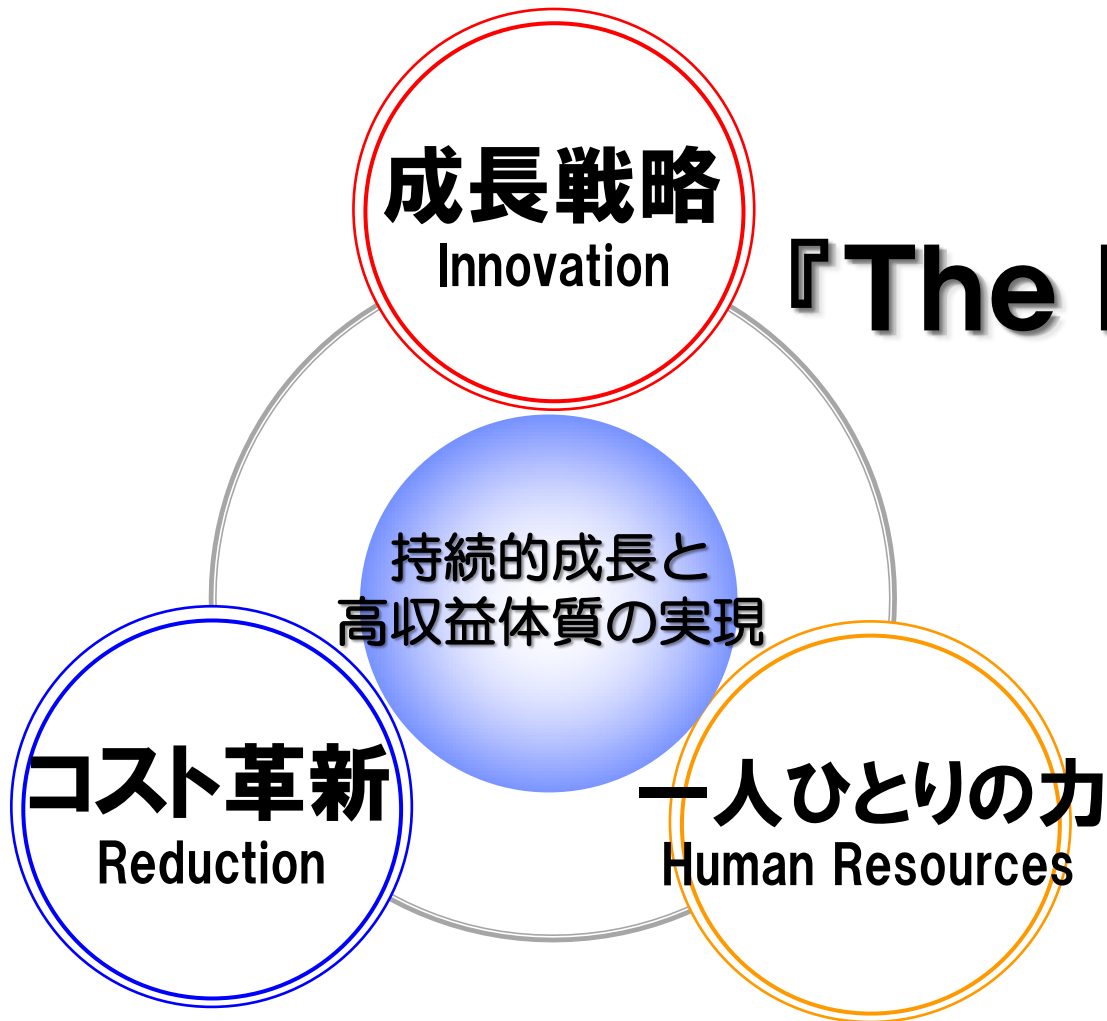
1. 2014年度通期業績
- 2. 今後の経営戦略**

KVKグループを取り巻く事業環境

- 先行き不透明な国内経済情勢
- 急激な為替変動、材料の高止まり
- 少子化、高齢化 … 世帯数の減少により新設住宅の減少
- 量から質への住宅政策の転換 … リノベーションの時代到来
- 安全安心、健康、心地よさ、環境共生への関心の高まり
- 他社との競合激化

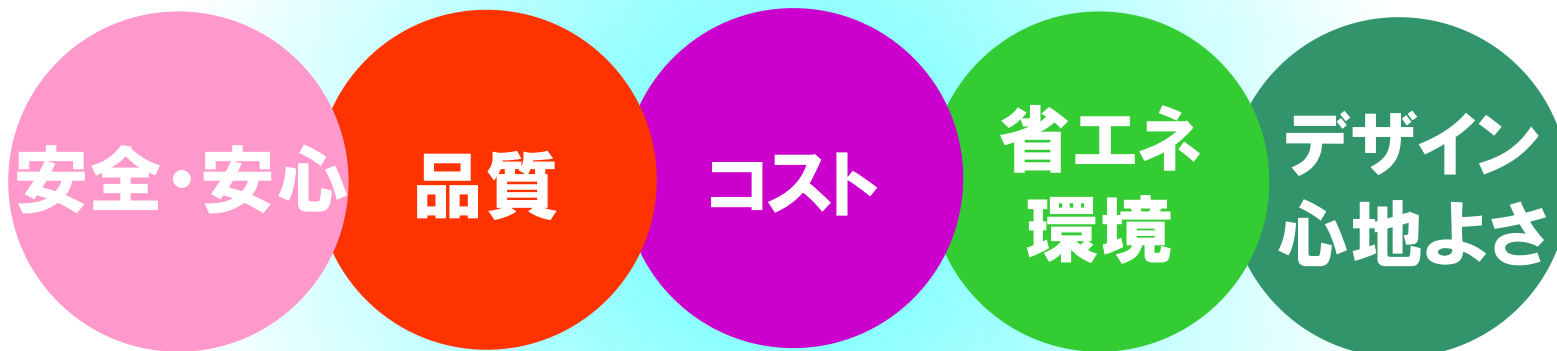


- お客様の新しい生活スタイルを提案する市場創造型の商品・サービスづくり
- 変種・変量に対応できるモノづくり



『The Next Stage 80』 ～新たな挑戦～

市場創造型の商品づくり

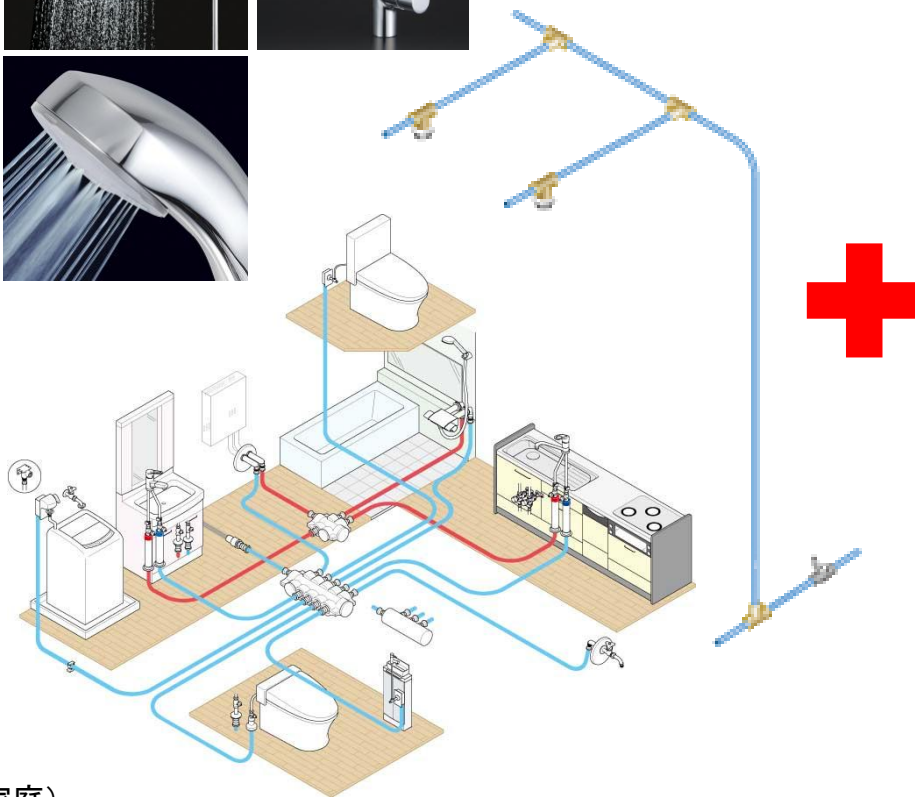


**差別化できなければ
生き残れない**

市場創造型の商品づくり



(一般家庭)



(パブリック)



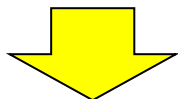
(業務用など)



販売戦略・重点施策

営業・アフター・物流拠点再編

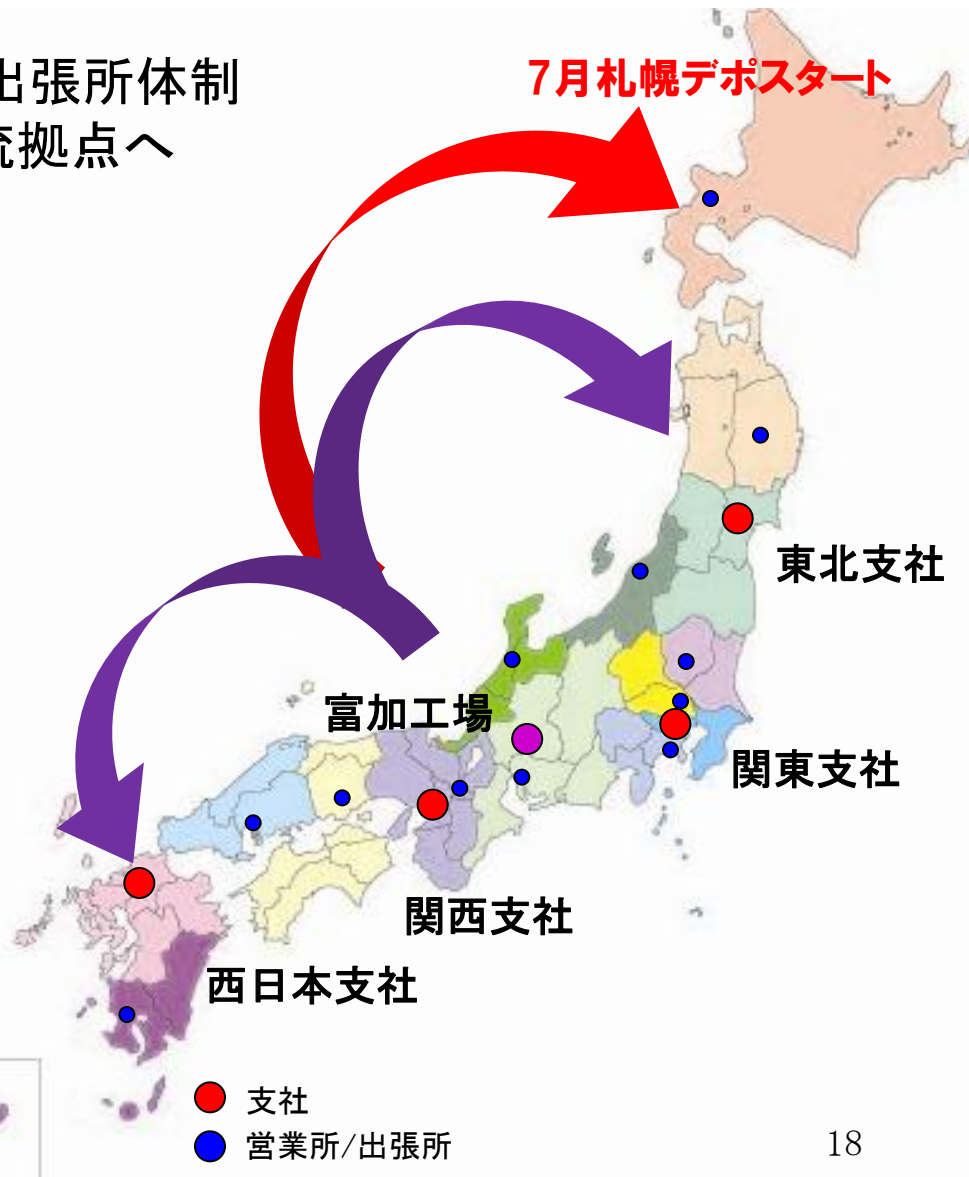
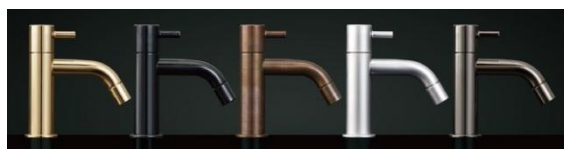
- 4月京滋出張所を新設し4支社14営業所4出張所体制
- 7月札幌営業所内に物流機能新設し4物流拠点へ
- アフターサービスの充実

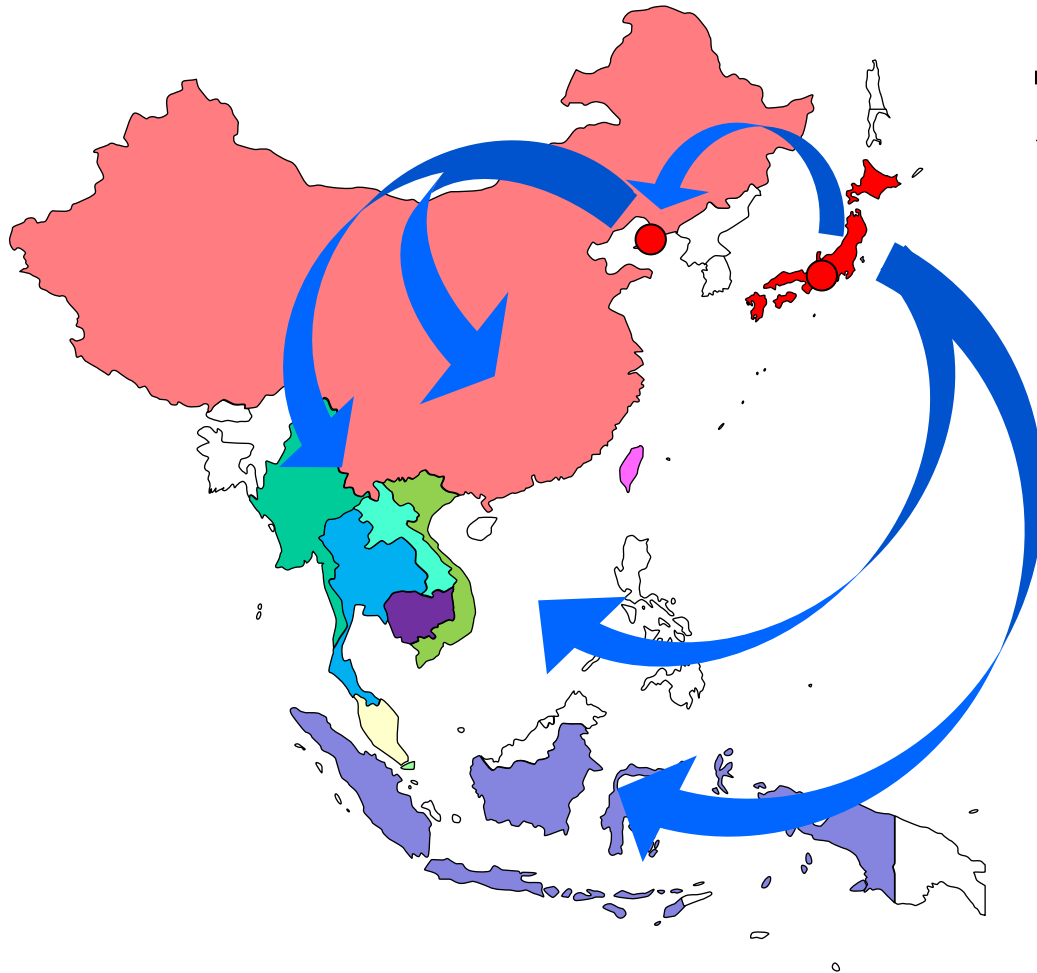


- ①地域に根ざしたきめ細かな営業活動
- ②ユーザーの声を製品づくりに反映

直接向き合うお客様だけでなく その先のお客様を意識した KVKファンづくり

- ①自社のネットショップ開設
- ②ネットショップ限定特殊めっき手洗い単水栓





アジア市場を攻める。

中国市場の販売・
調達・生産強化

KPS活動による最適生産体制づくり

「ジャスト・イン・タイム」と「自動化」

- モノと情報の見える化
- 変種変量に対応したラインづくり
- L/T短縮、品質改善 → 在庫削減
- 設計からのコストダウン
- 物流改革
- 基幹設備への先行投資

コスト
ダウン

在庫
削減

変種変量
対応

技術の蓄積
品質の向上

人財・生産
スペースの
有効活用

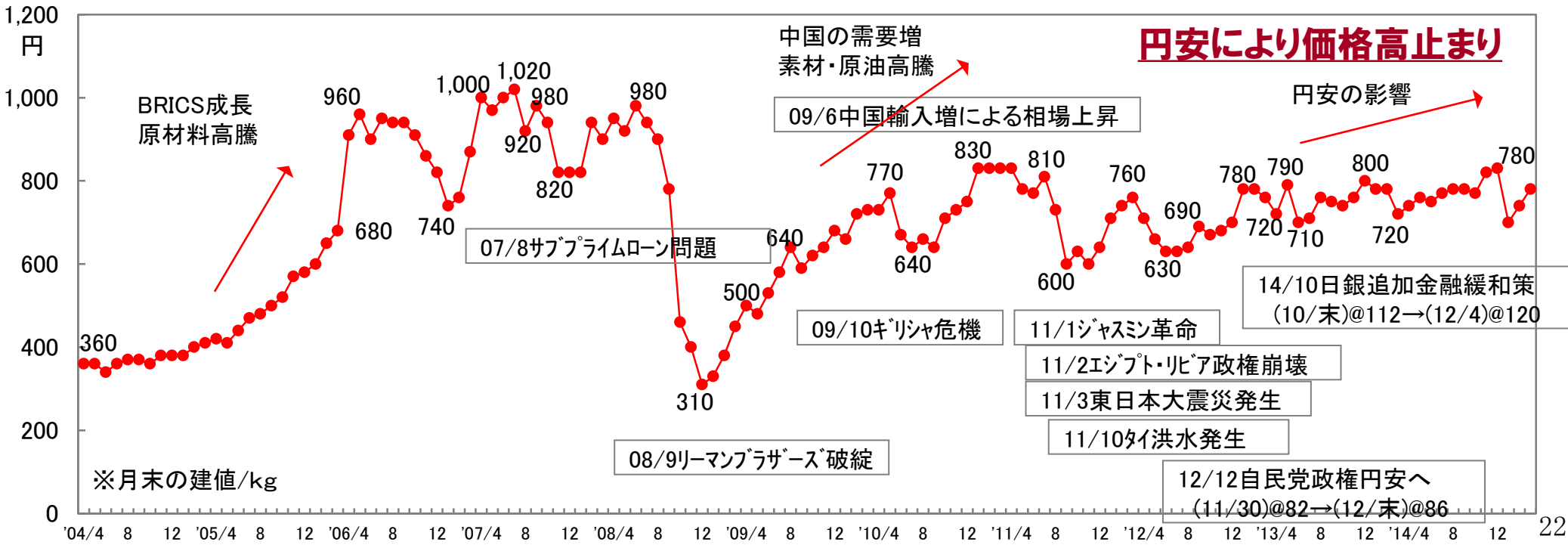
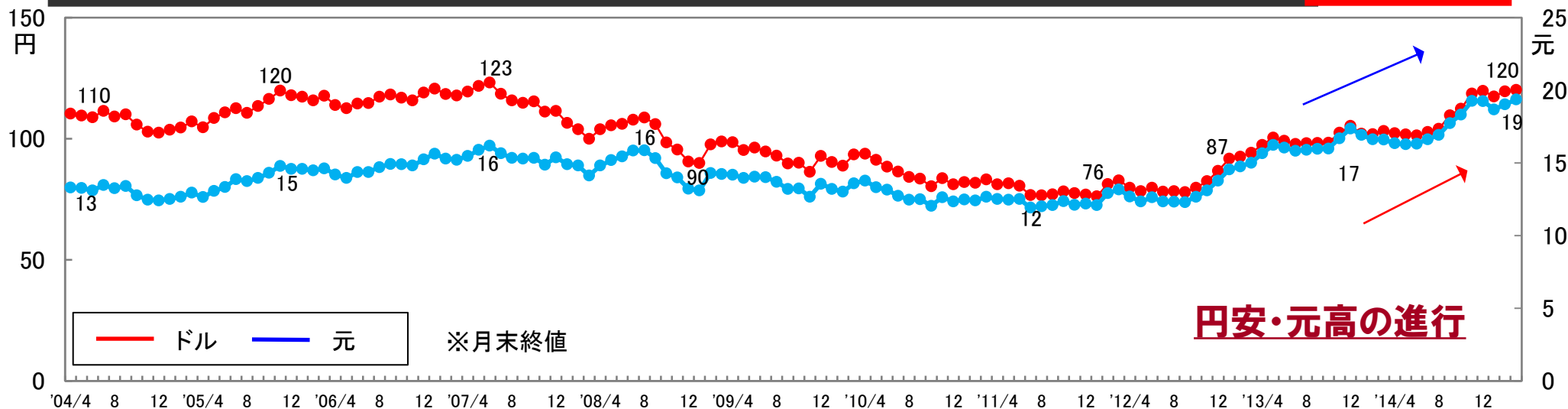
成長に向けた基幹設備への先行投資

「砂型鑄造設備の新設」

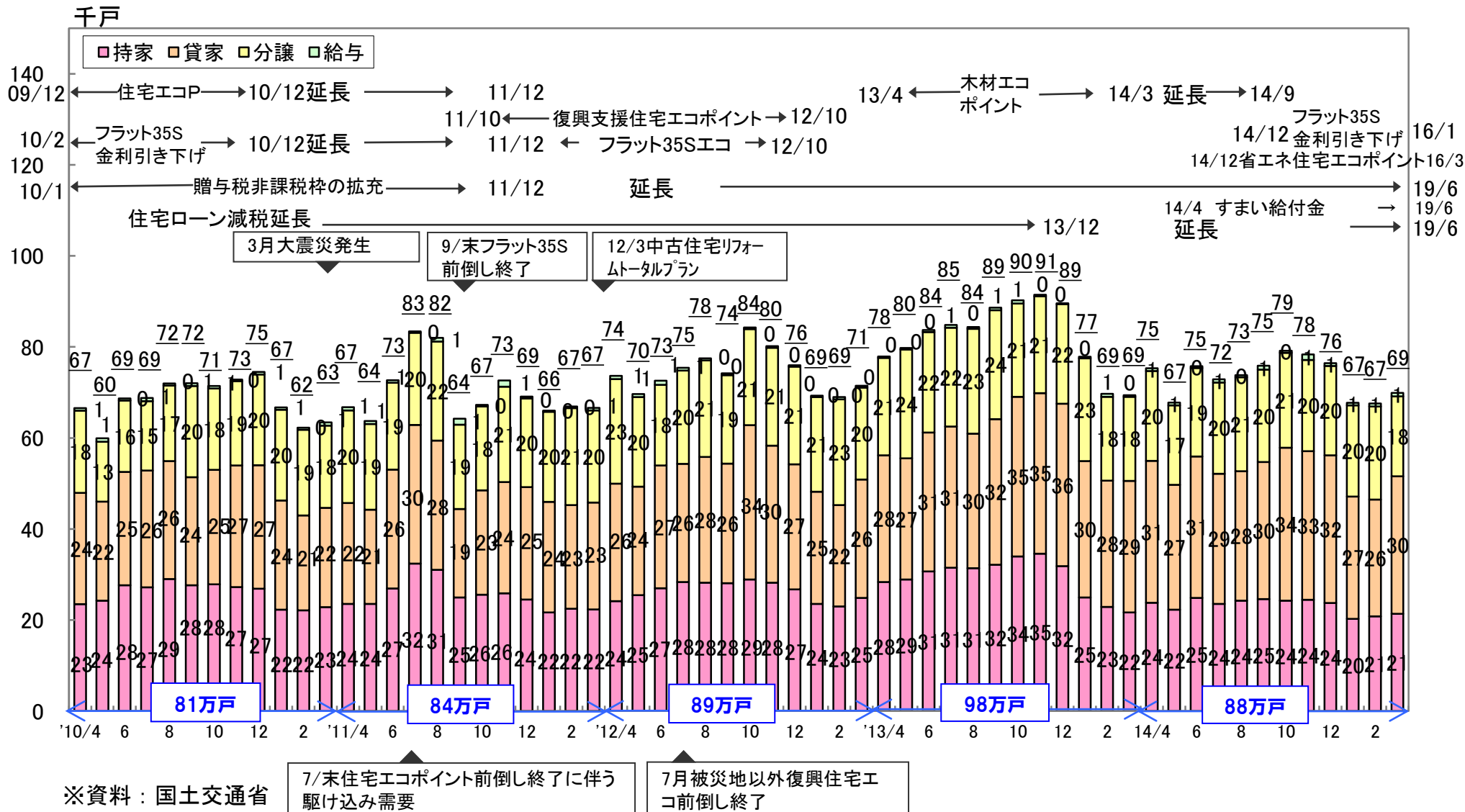
目的	老朽化した本社砂型鑄造設備の更新
設置場所	富加工場内
投資額	12億円(自己資金で対応)
工事着工	平成27年4月
生産開始	平成28年10月(予定)
設備概要	多品種対応、省エネ・省人化タイプ、メンテナンス費削減、品質改善



(市況) 為替・銅価格

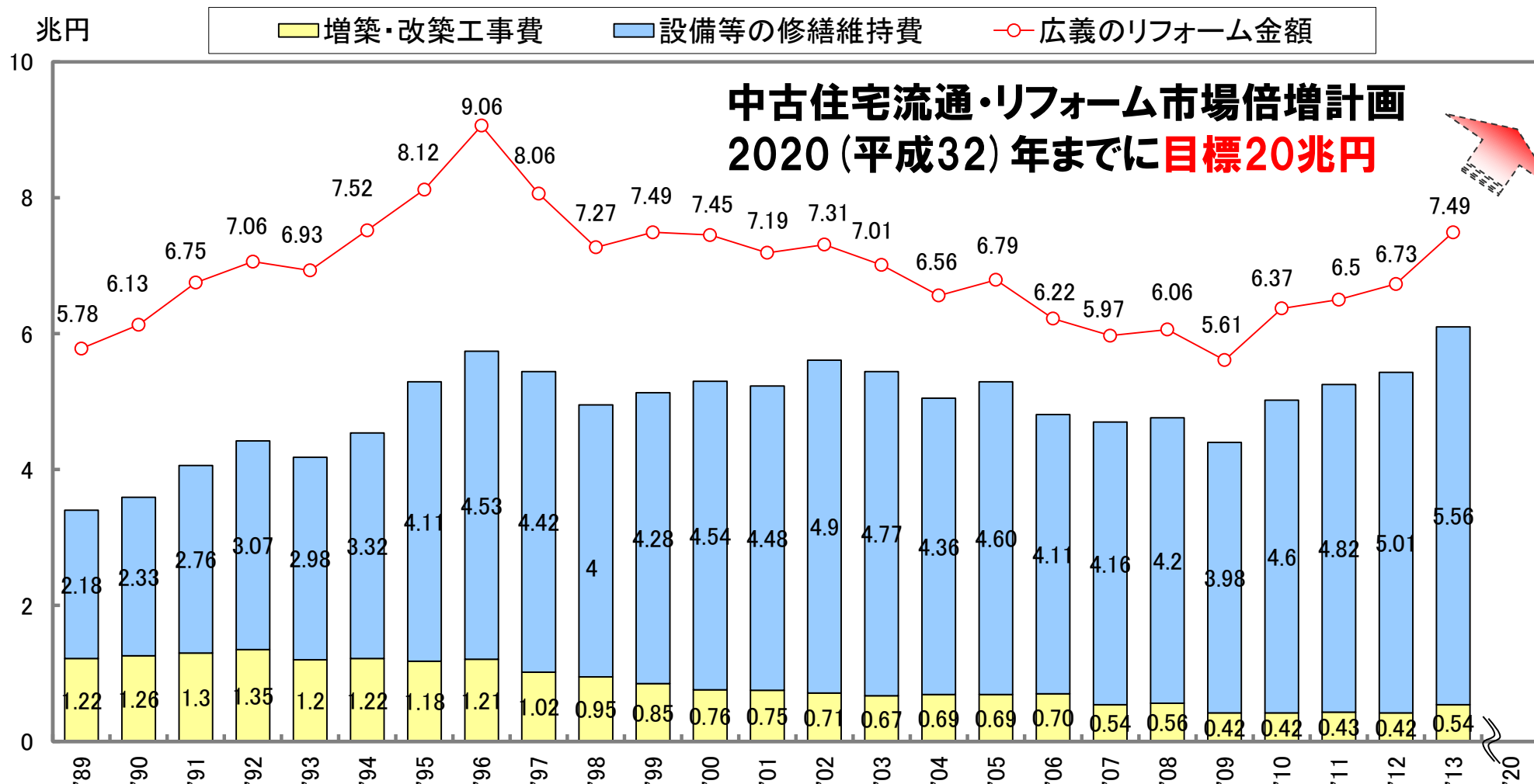


(市況) 月別新設住宅市場



(市況) リフォーム市場

中古住宅・リフォームトータルプラン



※資料: 国土交通省、(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

リーマンショックに伴う消費低迷の影響

KVK

Creating Value with You

『お客様とともに“快適な水まわり空間”を創る。』

持続可能な社会



お客様価値の創出



経営理念

行動規範

中期経営計画

年度方針・日常業務

経済

社会

環境

地域
社会

地球
環境

株主
投資家

お客様

取引先

社員